

試験場新設で自動車関連の安全規格認証を迅速化

Edited By LogisticsToday On 2019/11/12



自動車関連の安全規格・法規に関わる認証を行うテュフ・ラインランド・ジャパン（神奈川県横浜市）は12日、今後拡大が見込まれるコネクティッド・自動運転・シェアサービス・電動化といった市場（CASE市場）に対応するため、愛知県知立市に「モビリティ技術開発センター」（MTC）を新設する、と発表した。

MTCは、2020年夏に操業開始する見込みで、車載エレクトロニックコントロールユニット（ECU）や車載電気・電子機器の電磁両立性試験（EMC試験）のほか、スマートキーレスなど短距離デバイスの無線試験などを行う。

同社は「現在の自動車は、多いものでは1台に30を超えるECUが搭載されており、CASEに必要となるデバイスは年平均10.8%で増加している」として、新試験場の建設によって車載関連製品の試験所能力を強化する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/357524>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.